

御所の台エリア再構築構想 町長メッセージ

本構想の「御所の台地区」は、町を代表する観光施設であるハタハタ館やあきた白神体験センター、あきた白神駅、オートキャンプ場、ふれあいパーク、野球場が整備されている複合観光エリアです。

しかし近年は、少子化や人口減少、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者は減少傾向にあるほか、老朽化による利用休止施設が増加するなど、多様化する観光客のニーズに対応できる状況にはありませんでした。また、八峰町の観光客の動向を見ますと、その多くが春から秋に集中しており、冬季の誘客が課題となっています。

このような状況を打開するため、町では令和元年に「御所の台公園活用意見交換会」を、令和3年には「道の駅はちもり移転に向けた懇談会」を開催し、御所の台エリアの利活用について、関係機関の皆さまからご意見やご提案をいただき、この度、「御所の台エリア再構築構想」を策定しました。

本構想の基本理念は、『白神山地の豊かな恵みを活かした交流ターミナルの創出』とし、御所の台エリアへの「道の駅はちもり」の移転や、特産品販売所のリニューアルなど、利用者のニーズに対応した機能拡充や、温泉をはじめとした観光資源を活用した既存施設の機能強化に加え、オートキャンプ場や野球場等については、新たな民間企業の誘致に向けたエリアとする計画としています。将来的に当該エリアは、北東北を代表する観光交流拠点を目指してまいります。

なお、本構想はゴールではなくスタートとなるものであり、今後は、観光協会や商工会をはじめとした町内事業所等とともに、八峰町の観光の核となるエリア構築に向け事業を進めてまいります。

令和5年7月吉日
八峰町長 堀内 満也



御所の台エリア現況図